



4月6日現在寄贈品一覧

- ・防犯ブザー（土別地区防犯協会連合会）
- ・クリアファイル（土別地区交通安全協会連合会）
- ・コンクリートミキサー車型消しゴム（北海道生コンクリート工業組合）
- ・夜光反射材（上川地区交通安全推進協議会）
- ・白い恋人 小学校、中学校、高等学校（石屋製菓株式会社）

このほか、多くの企業団体から直接、各学校に寄贈いただきました。

3月17日応接室において、北星信用金庫から剣淵小学校新入学生児童に対し、ランドセルカバーが寄贈されました。

このランドセルカバーは、ドライバーからも目立ちやすいデザインとなっており、児童生徒が安全に登下校できるようにという思いから毎年寄贈いただいております。

このほか多くの企業から新入学児童に対し多くの寄贈品をいただきました。各寄贈品については、上記のとおりです。



3月30日剣淵小学校において、剣淵町赤十字奉仕団から新入学児童に対し、手作りマスクが寄贈されました。

このマスクは、新型コロナウイルス感染症予防のため、繰り返し洗って使用できるマスクとなっています。新入学児童が、安心して学校生活を送れるようにといった思いが込められています。また、マスクのデザインも様々で、子どもたちに喜ばれる可愛いデザインとなっています。

なお、新入学児童には、一人当たり2枚ずつの手作りマスクが配られています。



4月3日応接室において、今年2月から特別養護老人ホームひらなみ荘に勤めている佐藤和明さんに対し、剣淵町中小企業等UIターン者就業奨励金の目録が贈呈されました。

早坂町長は「若い方が剣淵町にきてくれてうれしい、頑張ってください」と話されていました。

なお、株式会社瀬野鉄工所に就業された笹渕祥太さんについては、ご都合により欠席されています。



4月15日町民センターにおいて、利用が少ないJR宗谷線の無人駅廃止に伴う住民説明会が行われました。

旭川市以北の4市7町1村を結ぶ宗谷線は、利用者の減少により、年間約53億円の赤字を計上しているため、コスト削減が求められている状況です。

剣淵町内駅では、東六線駅の年間維持費が約70万円、北剣淵駅については約110万円を要する為、廃止が検討されています。

この日説明会には、駅周辺に住む町民など10名が参加しました。